

(有)上深川営農 奈良県奈良市

基本情報

- 山間地(海拔約450m)及び平坦地
- 砂壤土(山間地)
- 従事人数8名 臨時雇用7名
- 平成17年3月設立

品目	規模	区画整備率
水稲自作(山間地)	0.9ha	75% (整備田 平均区画 20a)
水稲 耕起・代掻き・ 田植・収穫作業受託 (山間地)	15ha	
水稲 育苗作業受託(山間地用)	40,000枚 (緑化後)	—
水稲 収穫作業受託(平坦地)	25ha	不詳



側条施肥技術

経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- 集落内外の水田作業を受託し、高品質で生産性の高い米生産の実践や、遊休農地の発生防止に対応
- 高性能機械の導入により、山間の条件不利地における作業の効率化、低コスト技術の取り組みを推進
- 「あきたこまち」(極早生)、「コシヒカリ」(早生)、「ヒノヒカリ」(中生)の3品種構成による作業分散により、効率的な組織営農に取組

稲作の施肥・防除における コスト低減の取組

- ① 疎植栽培技術(全作業面積)
株間を慣行の18cmから21cm
まで拡げることにより、単位面積
当たりの育苗箱数を減らし、育
苗に係る肥料・農薬費及び労働
時間を削減
- ② 側条施肥技術(全作業面積)
側条施肥により、施肥量削
減・適正施肥を実施するとともに、
田植え同時作業による省力化

導入効果

- ① 疎植栽培技術
 - ・苗購入費: ▲約14%(疎植による必要育苗箱数減少)
 - ・その他:
苗運搬労力の軽減
品質(登熟歩合)が慣行株間に比べて向上
収量は慣行株間と同等
- ② 側条施肥技術
 - ・肥料費: ▲約5%(施肥量削減)
 - ・労働時間: 田植えと同時に施肥、箱施用剤・除草剤
散布作業 3.0hr/10a→1.5hr/10a(▲約50%)
 - ・その他:
側条施肥により、肥料が均一に施用されるため、生育の
斉一化、過繁茂抑制が図れ、品質向上、倒伏軽減、いもち病等の発生量が低減
全面全層施肥に比べて雑草の発生を抑制

支援体制

奈良県北部農林振興事務所、奈良県
農業研究開発センター、JAならけん
等の関係機関から技術情報の提供

課題・今後の目標

- ・今後は疎植栽培の株間を24cmまで拡大し、登熟歩合を高めることにより、更なる品質の向上と生産の安定化を図る
- ・作業受託面積の拡大により経営の安定化を図る